

# 戦争と平和

## ——愛国的脱走米兵が語る

1960～70年代、ベトナム戦争に反対して抗議活動をおこなった世界中の若者たち。日本の米軍基地に駐留していた米兵の中からも、戦争に反対する若者が現れました。

その中でも最も注目を集めたのが、ちょうど50年前の1967年10月に登場した脱走兵「イントレピッドの4人」。横須賀停泊中の米空母イントレピッド号から米兵4名が脱走し、日本でベトナム戦争反対の活動をしていた「ベ平連」の人びとの支援のもと、海外に逃れたのです。

「4人」のひとりであるクレイグ・アンダーソン氏が、脱走後50年ぶりに初めて来日します。

ベトナム戦争とは何だったのか。自身の生い立ちや脱走経験をもとに、ベトナム戦争の負の遺産（枯葉剤や地雷被害など）や、軍事・安保をめぐる現代的諸課題について語ります。



『読売新聞』(1967年11月14日)

左から2人目、脱走当時のアンダーソン氏

New York Times, 1967.11.14



主催・埼玉大学人文社会科学研究科/教養学部  
共催・基盤研究(C)「在日米軍基地におけるベトナム反戦運動  
についての研究」(2017-19年度科研費採択)

問い合わせ・市橋秀夫(人文社会科学研究科教授)

bridge@mail.saitama-u.ac.jp

人文社会科学研究科/  
教養学部主催講演会

日時

10月27日(金)

10:40～12:10

場所

教養学部棟

22番教室

講師 クレイグ・  
アンダーソンさん

1946年11月30日、  
カリフォルニア州サンホセ  
生まれ。1967年10月-



12月、米空母イントレ  
ピッド号から脱走し、スウェーデンに逃れる。  
共同声明文「イントレピッドの4人の愛国的  
脱走兵」の執筆者。1971年、恋人と共に  
スウェーデンを離れ、カナダ経由で米国に  
戻る。1972年、FBIによって逮捕され、  
懲戒除隊処分を受け釈放される。

1980年代後半からWill Hartという筆名で  
フリーの著述家としての活動を開始する。

2016年12月、長年の沈黙を破り、実名で  
ニューヨーク・タイムズ紙の取材に応じ、  
インタビュー記事が掲載される。主な著書  
として、*Ancient Alien Ancestors:*

*Advanced Technologies that  
Terraformed Our World* (2017) など。

解説 平田雅己さん  
(名古屋市立大学准教授)